

再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容（情報公表資料）

東京都の助成事業「地産地消型再エネ増強プロジェクト」を活用し、国立研究所構内の2箇所に太陽光発電設備を導入しました。これらの設備で発電した電力は、試験装置や空調機器等に使用する電力の一部として自家消費し、CO₂排出量を削減します。

・東京都の助成事業で導入した太陽光発電設備の概要（参考情報）

設置場所	太陽電池モジュール	パワーコンディショナ	出力 (kW)	年間発電量 (MWh)	稼働開始
実験棟 研 40	出力 196.2kW ※545W×360 枚 型式：HGG-545-BMA-HV HG Energy Group Co., LTD	出力 200kW ※50kW×4 台 型式：SUN2000-50KTL-JPM0 Huawei Technology Co., LTD	196.2	237.9 ※2023 年度実績	2023 年 3 月
実験棟 研 74	出力 204.18kW ※415W×492 枚 型式：LR5-54HPH-415M LONGi Solar Technology., Co.LTD	出力 200kW ※50kW×4 台 型式：SUN2000-50KTL-JPM0 Huawei Technology Co., LTD	200	39.0 ※2024 年 8 月～9 月までの 2 ヶ月間の 実績	2024 年 8 月



実験棟 研 40



実験棟 研 74

【導入場所】

国立研究所（東京都国分寺市）構内の実験棟屋上

【導入目的】

試験装置や空調機器等の電力の一部として自家消費することによる CO₂ 排出量の削減

【省エネへの取組内容】

変圧器、空調機器の高効率化などによる省エネの他、構内計 5 箇所太陽光発電設備による創エネを推進